

コロナ禍における人間の尊厳

— 危機に向き合って —

2021年12月5日（日）13:30-17:00

オンライン開催（Zoomウェビナー・要事前申込）

申込フォームは日本学術会議HP「一般公開イベント」内本企画ページに
10月以降掲載予定（<http://www.sci.go.jp/ja/event/index.html>）

コロナ禍においては医療の逼迫した状態のなか、患者、医療者、市民の一人ひとりが必ずしも**人としての尊厳**を守られているとは言えない状況が現出している。さらに死者について人間らしい死とその弔いも守られることのない事例が生じている。しかし緊急事態だからやむを得ないのだろうか。本来「**人間の尊厳**」は、むしろ**危機**においてこそ守られるべき価値ではないのか。哲学、宗教研究、法学、医学の専門知と臨床の知見を集結し議論を深めたい。

司会 香川知晶（日本学術会議連携会員、山梨大学名誉教授）

13:30 開会挨拶 土井健司（日本学術会議連携会員、関西学院大学神学部教授）

13:40 報告1 **コロナ・パンデミックと人間の尊厳の問題**

加藤泰史（日本学術会議連携会員、椛山女学園大学教授、一橋大学名誉教授）

14:00 報告2 **コロナ禍における『治療』へのアクセス**

— 尊厳・人権枠組はどのような役割を果たしうるのか —

建石真公子（日本学術会議連携会員、法政大学法学部教授）

14:20 報告3 **危機に瀕する人間の尊厳—臨床の現場から—**

齊尾武郎（医師、フジ虎ノ門整形外科病院）

14:40 報告4 **コロナ禍で障害のある人と家族が体験していること**

児玉真美（フリーライター、一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事）

15:15 コメント1 美馬達哉（立命館大学先端総合学術研究科教授）

15:30 コメント2 岡田真水（兵庫県立大学名誉教授、日蓮宗僧侶）

15:45 ディスカッション

16:50 閉会挨拶 吉岡洋（日本学術会議第一部会員、
京都大学こころの未来研究センター特定教授）

主催 日本学術会議哲学委員会

共催 日本哲学系諸学会連合、日本宗教研究諸学会連合

お問い合わせ 日本宗教研究諸学会連合事務局 jfssr20084@gmail.com

